

安全データシート SDS

2020/04/15

1. 製品等及び会社情報

化学物資等の名称（製品名）：ヒズキ安定型複合塩素製剤

会社名：ユタカ株式会社

住所：〒604-8461 京都市中京区西ノ京中保町 10-1

担当部門：営業部

担当者：土田 尚彦

電話番号：075-406-7341

Fax 番号：075-406-7342

使用目的：除菌・消臭

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	マウスによる急性毒性試験の結果、異常は認められなかった。
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	細胞毒性確認試験の結果、異状は認められなかった。

3. 組成・成分情報

化学物質

次亜塩素酸ナトリウム

含有量

約 200 ppm

4. 応急処置

眼に入った場合：

多量の流水で 15 分間以上洗い流し、同時に上下両眼も洗浄し、直ちに眼科医の手当てを受けること。眼科医に移動中も眼の洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：

口をすすぎ、コップ 3~4 杯の水、牛乳を飲ませ、吐かせないこと。もし吐いた場合、再度水、牛乳を飲ませること。意識不明に陥った時、絶対に口から物を与えてはならない。速やかに医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の処置

消化剤：

本製品は不燃性である。周辺火災に応じた消化剤を使用すること。

消火方法： 安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること。

消火者の保護： 消火作業の際は適切な保護具（耐熱着衣、呼吸保護マスク）を着用する。

6. 漏出時の処置

土砂、ウエスを用いて吸収させて空容器に回収する。その後漏

7. 保管上の注意

①容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になるところを避け、風通しの良い冷暗所で保管する事。

②保管は周囲での火気、スパーク、高温物との接触する場所を避ける事。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取り扱い、保管場所近くに、手洗い、洗顔場所を設けること。

作業場には（防爆タイプの）全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観・形状： 透明液体

臭気： 塩素臭

溶解度： 水に易溶

pH: 弱アルカリ性

引火点: 情報なし

発火点: 情報なし

爆発範囲: データなし

蒸気圧： データなし

自然発火温度： 不燃性

分解温度： データなし

蒸発温度： データなし

燃焼性： データなし

粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常条件では安定、直射日光が当たると分解し塩素酸が生成される。

危険有害な分解性生物：

腐食性を有する塩素、酸化作用を有する二酸化塩素・酸素を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性： : マウスによる急性毒性試験の結果、異常は認められなかった。

皮膚腐食性・刺激性： 情報なし

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 情報なし

呼吸器感作性： 情報なし

皮膚感作性： 情報なし

生殖細胞変異原性： マウスの骨髄を用いた染色体異常試験、異数性試験((AIRC,1991)に於いて陰性であったため区分外とした。

発がん性： IARC がグループ 3 に分類していることにより区分外とした。

- 生殖毒性： ラットを用いた経口投与による7世代繁殖試験において親動物の生殖能力にたいする影響、胎仔に対する影響は見られなかった。区分外とする。
- 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：
ラットの飲水による6週間の試験（容量、20, 40, 80mg/L, 90日換算。
0.047, 0.93, 1.87mg/kgにおいて体重の変化、ラットの強制経口による14日間に於いて腎臓の重量変化は認められなかったので分類出来ない。
- 吸引性呼吸器有害性：
情報なし。

12. 環境衛生情報

- 残留性・分解性： 残留するが、有機物と反応して分解される。
- 土壌中の移動性： データなし
- 生態蓄積性： データなし

13. 廃棄上の注意

- 関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公団体が処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。
- 汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

- 安全対策： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと
容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
容器は温度の上昇を防止すること
火気の使用を禁止すること

15. 適用法令

- 労働安全衛生法： 非該当
- 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)： 非該当
- 毒物及び劇物取締法： 非該当
- 消防法： 非該当

※注意 SDSは事業者を対象とした文書です。

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考として自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。